科目名	国語Ⅰ（現代文・古文）（Japanese Ⅰ）

学 年	学 科(コース)	単 位 数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数
第1学年	機械工学科 制御情報工学科 経営情報学科	履修	2 単位	必修	講義	通年	60 時間

担 当 教 員	【常勤】 准教授　赤迫照子

学 習 到 達 目 標

科目の到達目標レベル	(1)読む力：文法事項を理解し、作品を読解できる。常用漢字が読める。様々な視点から古典文学に親しむことができる。文学史の基礎知識を習得できる。読書を楽しむことができる。 (2)書く力：授業の内容をノートにまとめることができる。論理的な文章が書ける。常用漢字の書き取りができる。読書感想文が書ける。 (3)話す力：適切に音読できる。根拠を明示しながら自分の意見を述べることができる。 (4)聞く力：授業のポイントを的確に聞き取り、情報を整理できる。

到達目標（評価項目）	優れた到達レベルの目安	良好な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	未到達レベルの目安
到達目標①	文法事項を理解し、作品を鑑賞できる。常用漢字の読み取り問題が80％以上できる。多様な視点で古典文学を鑑賞できる。文学史の流れを把握できる。読書の楽しみ方が習得できる。	文法事項を理解し、作品を読解できる。常用漢字の読み取り問題が70％できる。様々な視点から古典文学に親しむことができる。文学史の基礎知識を習得できる。読書を楽しむことができる。	文法事項の理解は不十分であるが、作品を読解できる。常用漢字の読み取り問題が60％できる。古典文学に親しむことができる。文学史の基礎知識を習得できる。読書に取り組める。	文法事項が理解できず、作品を読解できない。常用漢字の読み取り問題が60％以下しかできない。古典文学に親しむことができない。文学史の基礎知識を習得できない。読書に取り組めない。
到達目標②	授業内容をノートにまとめ、適宜見直すことができる。段落同士の関係を意識した、論理的な文章が書ける。常用漢字の書き取り問題が80％以上できる。	授業内容をノートにまとめることができる。論理的な文章が書ける。常用漢字の書き取り問題が70％できる。	授業内容をノートにメモをすることができる。論理的な文章を書くために必要なことが説明できる。常用漢字の書き取り問題が60％できる。	授業内容をノートにメモすることができず、板書も写せない。論理的な文章を書くために必要なことが理解できていない。常用漢字の書き取り問題が60％以下である。
到達目標③	文のリズムを意識しながら適切に音読できる。根拠を明示し、説明手順を意識しながら自分の意見を述べることができる。	適切に音読できる。根拠を明示しながら自分の意見を述べることができる。	音読ができる。自分の意見を述べることができる。	音読ができない。自分の意見を述べることができない。
到達目標④	授業のポイントを的確に聞き取って情報を整理し、ノートのまとめ作業に繋げることができる。	授業のポイントを的確に聞き取り、情報を整理できる。	授業のポイントを的確に聞き取ることができる。	授業のポイントを聞き取ることができない。

学習・教育到達目標	(G)①	JABEE基準1（2）	

達 成 度 評 価 （%）

評価方法 / 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	35	35	10	20					100
知識の基本的な理解【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎	○	○					
思考・推論・創造への適用力【適用、分析レベル】	○	○		○					
汎用的技能【論理的思考力】	○	○							
態度・志向性(人間力)【　】									
総合的な学習経験と創造的思考力【　】									

関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	
教科書	「精選国語総合」（東京書籍）
補助教材等	「ステップアップ高校漢字問題集」（東京書籍）、「カラー版新国語便覧」（第一学習社）、国語辞書

学習上の留意点

・漢字テストは「小テスト」の一つとして評価する。
・読書一行感想カードと読書感想文は「レポート」として評価する。
・提出物については、厳しく対応する。締切を厳守すること
・古文の授業では、図書館にある教科図書を活用する。各自で閲覧し、学習しておくこと。
・授業中、プリントを配付する。ファイルを準備し、整理しておくこと。
※注意
　国語Ⅰ（3単位）の最終成績は、国語Ⅰ（現代文・古文）と国語Ⅰ（漢文）を2：1として評価する。

担当教員からのメッセージ

　高専では低学年の間に、基礎学力をしっかり身につけます。中でも国語は、基礎学力の要です。 膨大な知識を吸収し、自分で考える力を鍛え、他者と関わる方法を身につけるために、しっかり取り組みましょう。

授　業　の　明　細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 （予習・復習）
1	ガイダンス 評論（一）①	シラバスを読み、授業の概要、学習到達目標、成績評価方法等を理解する。 内山節「時間と自由の関係」を読み、評論文を読む方法を身につける。 ・接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。・段落同士の関係に注意しながら、論理の展開や要旨を的確にとらえることができる。・抽象的な事象について、具体例を補いながら読解することができる。・筆者のものの見方や考え方が理解できる。	予習と復習：シラバスを熟読する。
2	評論（一）②		予習：ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。 復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
3	評論（一）③		
4	評論（一）④		
5	古文入門　説話集（一）①	「児のそら寝」（『宇治拾遺物語』）を読み、古文を味わう方法を身につける。 ・古文のノートの作り方を学習する。 ・歴史的仮名遣い・古語・文法・古典常識を学習する。 ・説話文学の基礎知識を習得する。 ・場面を読解し、鑑賞する。	予習：教科書本文を読んでおく。 復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
6	古文入門　説話集（一）②		
7	古文入門　説話集（一）③		
8	古文入門　説話集（一）④		
9	**前期中間試験**		
10	答案返却・解説 評論（二）①	試験解説により、問題の解き方を理解する。 岩井克人「広告の形而上学」を読み、評論文を読む方法を身につける。 ・接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。 ・段落同士の関係に注意しながら、論理の展開や要旨を的確にとらえることができる。 ・抽象的な事象について、具体例を補いながら読解することができる。 ・筆者のものの見方や考え方が理解できる。	予習：ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。 復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
11	評論（二）②		
12	評論（二）③		
13	評論（二）④		
14	説話集（二）	「桜木の精」（『今物語』）を読み、古文を味わう方法を身につける。 ・歴史的仮名遣い・古語・文法・古典常識を学習する。	復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
	前期末試験		
15	答案返却・解説 読書感想文の書き方	・試験解説により、問題の解き方を理解する。 ・読書感想文の書き方を学習する。	

授　業　の　明　細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 （予習・復習）
16	歌物語①	「筒井筒」(『伊勢物語』)を読み、古文を味わう方法を身につける。 ・歴史的仮名遣い・古語・文法・古典常識を学習する。 ・歌物語の基礎知識を習得する。 ・場面を読解し、鑑賞する。	予習：教科書本文を読んでおく。 復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
17	歌物語②		
18	歌物語③		
19	評論（三）①	福岡伸一「生物の多様性とは何か」を読み、評論文を読む方法を身につける。 ・接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。 ・段落同士の関係に注意しながら、論理の展開や要旨を的確にとらえることができる。 ・抽象的な事象について、具体例を補いながら読解することができる。 ・筆者のものの見方や考え方が理解できる。	予習：ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。 復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
20	評論（三）②		
21	評論（三）③		
22	評論（三）④		
23	**後期中間試験**		
24	答案返却・解説 和歌①	試験解説により、問題の解き方を理解する。 和歌を読み、鑑賞のための基礎知識を習得する。 ・基礎的な古文文法や古語が理解できる。 ・修辞法を理解できる。	予習：教科書本文を読んでおく。 復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
25	和歌②		
26	和歌③		
27	小説①	村上春樹「鏡」を読み、小説を自分なりに鑑賞する方法を理解する。 ・場面の展開を理解し、作品の構成を把握できる。 ・登場人物の心情を把握し、描写を味わうことができる。 ・表現上の工夫をとらえることができる。	予習：ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。出題された「考察」を行っておく。 復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
28	小説②		
29	小説③		
	学年末試験		
30	答案返却・解説 まとめ 授業改善アンケートの実施	試験解説により、問題の解き方を理解する。	
総 授 業 時 間 数			60 時間

科目名	国語Ⅰ（漢文）(Japanese Ⅰ)						
学 年	学 科(コース)	単 位 数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数
第1学年	機械工学科 制御情報工学科 経営情報学科	履修	1 単位	必修	講義	後期	30 時間
担 当 教 員	【常勤】 教授 薄井 信治						

学 習 到 達 目 標

科目の到達目標レベル	・漢文や漢詩の背景と要点を理解でき、短い説明文が書ける（復習カード、定期試験） ・漢文や漢詩、漢語についての質問に答えられる（口頭試問、定期試験） ・漢詩を鑑賞し、鑑賞文を指定の形式で書ける（レポート） ・訓点や句法を理解できる（定期試験、小テスト）

到達目標（評価項目）	優れた到達レベルの目安	良好な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	未到達レベルの目安
到達目標①	復習カードに、要点を適切な説明文で3行以上、3つ書ける。	復習カードに、要点を3行以上、2つ書ける。	復習カードに、要点を箇条書きで3行以上、3つ書ける。	復習カードが提出できない。
到達目標②	口頭試問に8割以上正答できる。	口頭試問に7割以上正答できる。	口頭試問に6割以上正答できる。	口頭試問に5割しか正答できない。
到達目標③	漢詩の鑑賞文を指定の形式で、かつ説得力ある文章で書ける。	漢詩の鑑賞文を指定の形式で書ける。	漢詩の鑑賞文を指定の字数で書ける。	漢詩の鑑賞文を提出できない。

学習・教育到達目標	(G)①	JABEE基準1（2）	

達 成 度 評 価 （%）

評価方法 / 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	30	30	5	15	10			10	100
知識の基本的な理解【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎	○	○	○			◎	
思考・推論・創造への適用力【適用、分析レベル】	○	○							
汎用的技能【 】									
態度・志向性(人間力)【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力【 】									

関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	
教科書	「精選国語総合」（東京書籍）
補助教材等	「カラー版新国語便覧」（第一学習社）

学習上の留意点

授業では、音読と訓点に重点を置く。詩文の背景の説明の詳しく行う。
ガイダンスでは、ノートの標準的な使い方を教えるが、各自で書き込み方に工夫を凝らし、復習に生かして欲しい。ちなみに、「その他」は「復習カード」の提出である。授業のポイントを3行程度の短い説明文にすることで、要点をまとめる力、短文を書く力を身につけてもらいたい。
※注意
国語Ⅰ（3単位）の最終成績は、国語Ⅰ（現代文・古文）と国語Ⅰ（漢文）を2：1として評価する。

担当教員からのメッセージ

漢文は非常に完成度の高い人工言語である。そして訓読漢文は日本人が血肉としてきたものである。訓読によって、省略されることの多い主語や目的語が分かり、品詞や時制が分かるようになる。
日本語は、いつ、どこで、だれが、といったことを曖昧なままで使うことができる言語である。そんな日本語にとって、訓読漢文は外してはならない芯なのである。訓読漢文に親しみ、読めるようになって、日本語の力はさらに上昇するだろう。

授　業　の　明　細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 （予習・復習）
1	ガイダンス 漢文入門①	授業の進め方、ノートの取り方等を理解できる。漢文を学習する意味を理解できる。現代語を古語にする方法を理解できる。	（復習）復習カードを書く。 （予習）小テストの準備をする。
2	漢文入門②	小テストにより、古語化の方法の理解を深めることができる。 熟語を訓読する方法を理解できる。	（復習）復習カードを書く。 （予習）小テストの準備をする。
3	漢文入門③	小テストにより、熟語を訓読する方法の理解を深めることができる。 「矛盾」を読んで、訓読漢文を理解できる。	（復習）復習カードを書く。 （予習）小テストの準備をする。
4	漢文入門④	小テストにより、「矛盾」の理解を深めることができる。 「塞翁馬」を読んで、訓読漢文を理解できる。	（復習）復習カードを書く。 （予習）小テストの準備をする。
5	唐詩①	小テストにより、「塞翁馬」の理解を深めることができる。 漢詩とはどういうものかを理解できる。 ・唐詩の読解の仕方を理解できる。 ・鑑賞文の書き方を理解でき、実際に鑑賞文を書くことができる。	（復習）復習カードを書く。
6	唐詩②		（復習）復習カードを書く。
7	唐詩③		（復習）復習カードを書く。
8	唐詩④		（復習）復習カードを書く。 唐詩の鑑賞文を書く。
9	後期中間試験		
10	答案返却・解説 史話①	試験解説により、訓読漢文の理解を深めることができる。「管鮑之交」をもとに、史話の読み方を理解できる。	（復習）復習カードを書く。 （予習）小テストの準備をする。
11	史話②	小テストにより、史話の読み方と理解を深めることができる。	（復習）小テストの復習をする。
12	思想①	「論語」を読み、孔子やその弟子の生き方、考え方を理解できる。 小テストにより、訓読漢文の理解を深めることができる。	（復習）復習カードを書く。 （予習）小テストの準備をする。
13	思想②		（復習）復習カードを書く。 （予習）小テストの準備をする。
14	思想③		（復習）復習カードを書く。
	学年末試験		
15	答案返却・解説 まとめ 授業改善アンケートの実施	試験解説により、訓読漢文の理解をさらに深めることができる。	
総　授　業　時　間　数			30 時間